

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：内藤 晃 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5総合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

第21回 定期大会を開催

結成

から20年目となった第20期は、「改めてこれまでの取り組みを振り返り、将来のさらなる飛躍に向けた準備を行うための1年」と位置づけ、取り組みを進めた。この20年間で、ANAグループ、JALグループに属さない加盟組合も増えている。我々の産業を取り巻く環境も、急速に変化しており、訪日外国人旅行者の急増、東京オリンピック・パラリンピックの開催など、産業のさらなる成長を促すチャンスは多い。一方で、超少子高齢化とそれに伴う労働力人口の減少は、我々の産業に対しても、職場における要員不足という課題を突き付けている。これらの課題に対応するべく、第18期に「2020年までの重点取り組み項目」を掲げ、この3年間取り組みを進めてきた。2019春闘では、「賃金の改善」と「働き方の改善」を両輪とした人への投資を促進することによる「職場での活力の好循環」の実現を目指した方針を策定し、一丸となった取り組みを進めた。まもなく議論を開始する2020春闘に関しては、これまでの議論をさらに深めるとともに、産業として目標とすべき賃金水準についても議論を重ねる必要がある。また、働き方に関して、単年での改善が困難な課題も増えてきており、通年での取り組みの後押しとなる方針策定が求められている。産業の魅力を向上し、人材の確保、育成、定着を実現していくためには、賃金を含む労働諸条件の改善が不可欠である。

産業成長の基盤となる産業政策の実現には、内外に理解者を増やすことが不可欠であり、航空連合政策議員フォーラムの開催など、国会議員と連携した取り組みも継続している。航空保安体制の強化については、今期も政策議員フォーラムのメンバーを中心とした超党派の議員による議員立法提出がなされた。また、今年度末で期限を迎える航空機燃料税の軽減措置については、少なくとも再延長を実現するべく、年末に向けて正念場を迎える取り組みとなる。これら政策の取り組みは、産業の基盤を強化し、さらなる成長を確固とするために不可欠であり、引き続き必要な連携を図りつつ、実現に向けて取り組みを進めたい。

組織に集う仲間が増えたなか、これまで以上に加盟組合へのサポートの強化が

求められている。また、未だ労働組合が組織されていない企業で働く仲間を含め、産業全体での労働条件の底上げ、底支えを実現し、真に魅力ある産業を作り上げるには、取り組みの成果を産業の隅々にまで波及させなくてはならない。そのためには航空連合に集う仲間を増やす、つまり組織化の取り組みが不可欠である。

さまざまな課題が山積するなか、第21期からは、事務局機能の強化、多様性を反映した議論を実現するための役員体制の見直し、そして、2か年方針を策定することとした。第21期はこれからの航空連合を創り上げる第一歩を踏み出したい。一方、産業存続の基盤として、航空の安全は産業で働くすべてのものの力で守り抜かなくてはならない。昨年10月から相次いで発生した飲酒に起因する不適切事案により、航空関連産業における安全は社会の信頼を大きく損ねた。その後も飲酒に起因する不適切事案は発生している。我々は、今一度、安全運航は産業の存立基盤であるということ、安全運航は産業に集うすべての仲間で支えるものであるということを強く決意し、さらなる意識改革、風土改革に取り組む、一刻も早く信頼を取り戻す必要がある。

島会長 挨拶 (要旨)

- 第一号議案
新規加盟組合の報告・確認
- 第二号議案
第20期活動報告及び第21期～第22期運動方針(案)
- 第三号議案
航空連合規約・規定の改廃
- 第四号議案
第20期決算報告・剰余金処分(案)、第21期予算(案)
- 第五号議案
2019-2020 産業政策提言(案)
- 第六号議案
第21期役員を選出

大会に付議された議案は全て可決承認されました。

01 ご来賓挨拶

連合 神津里季生会長、立憲民主党 枝野幸男代表（航空連合政策議員フォーラム会長）、国民民主党 玉木雄一郎代表（同フォーラム副会長）、国土交通省航空局 飯嶋康弘次長、定期航空協会 大塚理事長から激励のご挨拶をいただきました。



連合
神津会長



立憲民主党
枝野代表



国民民主党
玉木代表



航空局
飯嶋次長



定期航空協会
大塚理事長

02 新規加盟組合の報告・確認

3組合の新規加盟が満場一致で確認されました。
第21期は正式加盟56組合、44,152名でスタートします。

新規加盟

組織名 日本貨物航空労働組合 (NCA 労組)

委員長 大川 晶司 (おおかわ まさし) **組合員数** 162名

所在地 千葉県成田市 **会社業務** 定期航空運送事業、不定期航空運送事業及び航空機使用事業等

加盟日 2019年10月1日 (第20期第11回中執承認)

大川委員長



組織名 SPP長崎エンジニアリング労働組合 (SPP NECO 労組)

委員長 池田 健太郎 (いけだ けんたろう) **組合員数** 63名

所在地 長崎県諫早市 **会社業務** 航空機用装備品 (降着装置) の修理及び改造

加盟日 2019年10月1日 (第20期第11回中執承認)

池田委員長



新規メンバー加盟

組織名 近鉄エクスプレス労働組合 (KWE 労組)

委員長 渡邊 慎也 (わたなべ しんや) **組合員数** 683名

所在地 東京都品川区 **会社業務** 貨物利用運送事業 (航空、海上、鉄道)、通関業等

加盟日 2019年4月16日 (第20期第6回中執承認)

塩見書記長



03 第21期—第22期運動方針 (要旨)

「2020年までの重点取り組み項目」の達成に
改めて重点を置いた2か年の運動方針が承認されました。

- 「人への投資」による継続的な「活力の好循環」の実現、「活力の好循環」による「付加価値の拡大」と「産業の魅力発信」、「活力の好循環」を産業全体に波及させるための「付加価値の適正な配分」と「組織の強化、拡大」に取り組めます。
- 足下の課題に着実に対応しつつ、中長期的な視点で魅力ある職場、産業を自らの手でつくりだしていくことができるよう、産業に集う仲間が一体となって、産業のさらなる発展に向けて精力的に取り組めます。

質疑 (要旨)

代議員 目指すべき賃金水準の設定とあるが、具体的に何を基準にどのように水準を設定するのか。

航空連合 人材定着のためにも、労働条件の向上が不可欠であるが、上げ幅だけの賃金要求では加盟組合の活動を十分に後押しできないという課題が昨年からあげられたことを受け、2019春闘方針で「目標賃金水準の検討」を記載した。現在、労働条件調査による加盟組合の実情など、数字を収集し、他産別との比較などをしながら検討を継続しており、第21期においても検討を深めていく。

代議員 方針について、パートナー社や総代理店にも思いを馳せることに強く共感する。現在、人材の定着ができないことに加え、長時間労働による不安全事故が発生している。仲間を守る観点で、継続的な採用、人材育成、産業の魅力発信に取り組んでいただきたい。

航空連合 方針では「付加価値の拡大と適正な配分」で記載しているが、前提としては職場で接点を持ち、一緒に働くことで信頼関係を構築している加盟組合の皆さんの力がなければ、航空連合として正確な実態を把握し、適切なサポートをおこなうことができないと考えている。引き続き加盟組合の皆さんと本部との連携を強化して取り組んでいきたい。



04 2019-2020 産業政策提言(案)

働くものの立場から航空関連産業の健全な発展を目指し、策定された産業政策提言が確認されました。

質疑(要旨)

代議員 空港施設について先日の台風被害を受け、改めて災害に強い施設かどうか、疑問を感じた。災害対応に対しても財源が適切に使われているのか確認をお願いしたい。また、災害時などの非常時において、交通産業全体での連携も必要である。

航空連合 災害に強い空港づくりに向けて、国のとりまとめに基づいて各空港で様々な対策が図られていると認識しているが、その対策がしっかり機能するものなのか、地方航空連合とも連携してチェックしていきたい。また、災害時における他交通モードとの連携については、情報発信も含めて確実な対応が求められる。交運労協とも連携しながら進めていきたい。

代議員 人材確保は、喫緊の課題であるが、新しい技術の導入に前向きに取り組んでいく必要がある。各社で議論されているが、空港単位での議論活性化、各労組の取り組み状況をつなぐなどの役割を航空連合で担っていくべきではないか。

航空連合 「どのようなところをどのようにイノベーションしていくか」を発信していく必要があると考えている。その一歩としては、第20期のグラハン・貨物部会において、航空局の担当を招き、部会メンバーからイノベーションに向けた意見を伝えていただいた。このような取り組みを継続していく必要があると考えており、加えて政策協議等でも働くものの視点にたったイノベーション実現に向けて取り組んでいきたい。

代議員 アンケートを通じて「盗撮をされた可能性がある」と回答した客室乗務員は6割を超えていた。アンケート結果からも、不快な思いをしながら、対応のフローが明確ではなく自信をもって対応できなかったと回答した人も多かった。定期航空協会から発行されているポスターや機内VTRに盗撮に関わる内容を入れるなど、抑止力を高めるような取り組みは効果的である。

航空連合 客室乗務員の皆さんが安心して働ける環境整備に向けて、引き続き定期航空協会等と連携しながら、課題解決に向けて取り組んでいきたい。



熱心に議論する代議員の皆さん

05 第21期役員を選出

●会長

島 大貴 JAL 労働組合

●副会長

中尾 紀博 ANA 労働組合
 飯田 進一 JAL 労働組合
 小川 俊信 JAL グランドサービスグループ労働組合連合会
 関 亨 ANA エアポートサービス労働組合
 松本 亮介 ジャムコ労働組合
 川平 朝之 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合

●事務局長

内藤 晃 ANA 労働組合

●副事務局長

榎原あやこ ANA 労働組合
 宮本 範之 JAL 労働組合
 市原 聡 JAL エンジニアリング労働組合
 川原 鉄平 ANA 成田エアポートサービス労働組合

●中央執行委員

野口 恭史 ユニオン エア・ドゥ
 山城 裕 日本トランスオーシャン航空労働組合
 中村 義幸 JAL エンジニアリング労働組合
 新妻 卓磨 ANA 成田エアポートサービス労働組合
 松木 宏史 ANA 関西空港労働組合

齊田 弘毅 ANA ベースメンテナンステクニクス労働組合
 新垣 真一 JAL スカイエアポート沖縄労働組合
 中嶋 達之 中部スカイサポート労働組合
 森田 祐太 羽田空港グランドサービス労働組合
 川畑 恵美 OCS 労働組合
 西本 貴志 日航関西エアカーゴ・システム労働組合
 行徳 健太 ANA セールス労働組合
 中村 圭介 ジャルパック労働組合
 中村 実穂 JALUX UNION
 河本 寛子 ANA 労働組合
 皆川 知果 JAL 労働組合
 野口 沙織 JAL グランドサービスグループ労働組合連合会
 川幡 侑里 ANA エアポートサービス労働組合
 岡部 万里江 ジャムコ労働組合
 寺田 麻乃 ANA 関西空港労働組合
 志渡 佑美 ジャルパック労働組合
 赤嶺 藤乃 ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合

●会計監査

大瀧 恵一 ANA 労働組合
 長谷川 樹 JAL 労働組合

●第21期 特別中央執行委員

坂元 慎平 ANA 労働組合

06 退任される第20期役員の方々

お疲れさまでした



07 大会宣言の採択



航空連合 第21回定期大会 大会宣言

航空連合は、1999年の結成以来、航空関連産業で働くすべての仲間の幸せを実現するため、組合員の労働条件の向上や産業の基盤である安全の確保、政策実現、仲間の輪の拡大などに精力的に取り組み、多くの成果をあげてきました。結成から20年目となった第20期は、航空連合の運動をさらに力強く発展させていくため、これまでの運動を総点検し、運動基盤の再構築に取り組みました。第21期は、目標としていた2020年を迎えるとともに、運営の見直しを実行する、航空連合にとって極めて重要な一年となります。

現在、職場では、航空関連産業にとって大きなチャンスとなる2020年に向けた様々な準備が急速に進められており、特に急激に需要が拡大するなか、人材の定着・育成・確保について、引き続き多くの課題を抱えています。労働諸条件をはじめとする職場環境は段階的に改善が図られていますが、目の前の繁忙感に追われ、将来への安心を感じられない職場も少なくありません。加えて、産業全体でみれば、労働環境の改善が進まないなかでも、航空安全の堅持、日々の運航の維持やサービスに懸命に向き合っている多くの仲間が、産業を支えていることを正確に認識する必要があります。

いまこそ私たちは、これらの課題に正面から向き合い、人材の定着・育成・確保に対応するべく策定した「2020年までの重点取り組み項目」の達成に向けてさらに力強く取り組み、迫りくるチャンスを確実につかみ、2020年以降も見据えた産業の持続的な発展を実現する必要があります。そのために、組織運営体制を強化し、加盟組合の活動の一層の充実につなげるとともに、すべての運動の基盤として、安全運航の堅持に取り組むことを産業全体で強く決意する必要があります。

私たちは航空労働界を代表する産業別労働組合としての責任と自覚を持ち、航空連合に集う56組合、44,152名の仲間との相互信頼を深め、英知を結集して、魅力ある産業の実現に精力的に取り組むことを宣言します。



2019年10月2日
航空連合第21回定期大会
中央執行委員 川畑恵美

航空連合結成20周年レセプションを開催しました!

多くのご来賓をお招きし、20年間の振り返りと今後の飛躍を参加者全体で確認しました。



航空連合

は、航空関連産業で働く仲間・労働組合が大団結し、産業の魅力の向上や基盤の強化に向けて1999年10月に結成された、航空労働界を代表する最大の産業別労働組合です。56の企業別組合の44,152人（うち客室乗務員約1万4000人）で構成され、ナショナルセンター「連合」に加盟しています。



ニュース・航空連合へのご意見はE-mailでお受けしています。

アドレス avinet00@jfaiu.gr.jp

ホームページ <http://www.jfaiu.gr.jp>



Facebookをはじめました!

facebook.com/jfaiu

